



Rotary 2017–2018 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

# ガバナー月信

9月号  
2017.9.1  
No.03



高鍋町染ヶ丘 きやべつ畑のひまわり祭り



ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE

2017-2018年度国際ロータリーテーマ

国際ロータリー第2730地区  
2017-2018年度 ガバナー理念

『ロータリーを知り、理解を深めよう、

押川弘巳(OSHIKAWA HIROMI)ガバナー事務所

〒880-0817 宮崎市江平東町6-6 TEL(0985)77-5850 FAX(0985)77-5851  
E-mail:2017-18.osikawa-g@ri2730.org



2017.9.1 No.03

# CONTENTS

ガバナー挨拶	1	
委員長就任挨拶		
女性増強委員会	田村香代子	2
クラブ研修委員会	藤本 範行	
出席推進・フェローシップ委員会	森代 武志	3
ロータリー雑誌委員会	深尾 兼好	
職業倫理(4つのテスト)委員会	福永 健一	
職業情報・サービス研修委員会	江島 寛	4
社会奉仕委員会	児玉富喜夫	
国際奉仕委員会	田島 幹洋	5
ライラ委員会	鈴木 俊二	
ローターアクト委員会	岩澤 浩二	6
青少年交換委員会	丸野 史朗	
補助金・ポリオプラス委員会	山ノ内文治	
年次寄付・恒久基金委員会	上田 普	
奨学金世界平和フェローシップ委員会	佐藤 俊一	
職業研修チーム(V T T)委員会	佐藤 信博	8
地区学友委員会委員長	金丸 憲史	
米山奨学寄付委員会	濱田 紘一	9
米山奨学選考委員会	野間 隆文	10
米山学友委員会	楠 茂吉	
国際ロータリー第2730地区 地区大会 会長代理紹介	11	
第1回諮詢会議報告	12	
ガバナー公式訪問 報告	13	
第5期RLI-2730パートI 開催の報告	14	
RID2730広報・公共イメージ部門 クラブ委員長会議	16	
地区行事日程	17	
文庫通信	18	
7月の寄付金傾向	19	
7月出席報告・入退会報告	20	

## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義有る事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある

**第1** 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

**第2** 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

**第3** ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること

**第4** 奉仕の理想に結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

## 4つのテスト THE 4-WAY TEST

言 行 は こ れ に 照 ら し て か ら  
Of the things we think, say or do.

**1. 真実かどうか**

Is it the truth?

**2. みんなに公平か**

Is it fair to all concerned?

**3. 好意と友情を深めるか**

Will it build goodwill and better friendship?

**4. みんなのためになるかどうか**

Will it be beneficial to all concerned?



## ガバナー挨拶



R I 第2730地区ガバナー 押川 弘巳

会員の皆様暑い日が続いているがお変わりございませんか？私は、只今7月10日の奄美を皮切りに公式訪問の真っ最中でございます。

現在65クラブ中19クラブが終了しました。お盆明けから残り46クラブを消化し、11月10日の最終クラブまで体調十分にたどり着く予定です。

地区内を回っていると、色々クラブ、クラブで例会の特色があり勉強になります。

今までお伺いしましたクラブでは、会員数の少ないクラブの会員増強策が各会長さんの悩みの種であり、この増強案は永遠の悩みかもしれません。昨年の規定審議会の改定により、入会や例会出席のハードルがかなり下げられ若い第一線で働いていられる40代の方々が入会しやすい運営のやり方になっていますが、中々クラブでのご理解がなされていなくて、そのままのところも多い状態が見受けられます。

どうか地区内の65名の会長さん方はもう一度、規定審議会の改定を熟知されご希望があれば、規定審議会のセミナー開催も考えたいと思いますが、先ずは【クラブ運営の柔軟性】の改定運営法を実行されんことを祈念いたします。



笠利崎の風景



# 委員長就任挨拶



女性増強委員会委員長  
都城中央ロータリークラブ  
**田村 香代子**

なでしこ2730委員会改め女性増強委員会として心機一転、新たな活動を始めます。

改称の理由として、ある程度女性会員が増えたこと、「なでしこ」と称する団体が多いことなどありますが、一番の理由は本来の目的である2730地区の会員増強に立ち返る時期となったことです。

分区毎の各クラブ増強委員会から代表を選出し、組織化を図ります。

これからロータリーは年齢構成を考えると若年層を拡大する必要が大きいのは自明の理です。

社会的アピールや周知の方策を検討していかねばなりません。

世界でよいことをするための仲間を会員の皆様とともに増やしましょう。



クラブ研修委員会委員長  
高鍋ロータリークラブ  
**藤本 範行**

2017-2018年度に、地区クラブ研修委員長を務めることになりました高鍋RCの藤本範行です。私は押川弘巳ガバナーと同年齢で、「是非ともよろしく」と頼まれましたので、喜んでお引き受けいたしました。未熟で慣れないものですから、リーダーシップが中々取れないかと思いますが、経験豊かな方からのご指導をいただきながら活動していきます。

今年度のRIテーマ「ROTARY : 変化をもたらす」の実践に重点をおいた方針を受けて、2730地区では『ロータリーを知り、理解を深めよう』との地区テーマ掲げて、「変化をもたらす」行動をめざしてロータリー活動に突き進んで行こうとしています。奉仕の喜びと感動を味わいながら地域社会に奉仕することを推進する活

動を活性化させたいです。

そこで、2730地区クラブ研修委員会は、「ロータリーを理解し、クラブを元気にしよう！」を本委員会のテーマにして、クラブの活性化を目指して研修する委員会であることを認識して、研修を進めて参ります。

そのため、

- (1) 2730地区65クラブには、必ずクラブ研修委員会を設置する。その上、地区的クラブ研修委員会との接点となる「クラブ研修リーダー」を一人選任登録していただく。
- (2) クラブ・リーダーシップ・プラン(CLIP)の取り組みと実践を重視する。
- (3) 新会員がロータリーを理解するため「ロータリーを知ろう」をテーマに、新会員および3年未満会員の研修セミナーを実施する。
- (4) クラブの活性化を図るために、ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)の研修が実施されている。7月29日第5期RLIパート1(宮崎日大高校)

このRLI研修は素晴らしい企画なので、当委員会もRLIとの連携を密にして、クラブ研修委員会活動を活性化させたい。

## 事業実施計画

- (1) 5月14日 クラブ研修委員会「地区研修協議会」(シーガイア・コンベンションセンター)
- (2) 8月 新会員研修セミナー(宮崎市)
- (3) 9月30日 クラブ研修委員会「地区大会」
- (4) 2月 クラブ研修リーダーセミナー(メインホテル)

以上を今年度は計画をしています。微力ながら、先輩たちの力強いご指導ご鞭撻を賜りながら、精一杯の活動をしていきますので、ご協力のほどよろしくお願いします。



出席推進・フェローシップ委員会  
委員長  
出水ロータリークラブ  
**森代 武志**

出席推進・フェローシップ委員会委員長に指名されました出水ロータリークラブ所属の森代武志です。ロータリークラブに入会し16年目と入会浅い私に地区の委



員長を受け私でよいのか不安とプレッシャーを感じております。皆様方、地区会員のご支援を宜しくお願ひします。今年度の地区組織において今まで独立していたフェローシップ委員会と出席推進委員会がまとめられ出席推進・フェローシップ委員会となりました。私個人の意見としましては、出席推進とフェローシップ（親睦）が統一されていることは大変、理にかなっていると思いますが出席推進・フェローシップ委員会委員長の就任にあたり注意したいのが、出席推進・フェローシップ委員会は、クラブの会合（例会）の手配を担当することとなります。例会は、会員がロータリーを体験する主な場であり、参加型の楽しい例会とすることが重要です。会員が積極的に参加できる環境を作り出すことによって、地域社会での奉仕活動も活発になり、出席推進向上や入会希望者やロータリーに関心を示す人が増えると考えます。しかし、よく言われることは、ロータリー活動においてフェローシップ（親睦）を図ることが、ロータリー活動の全てであるように誤解されます。ゆるぎないフェローシップ（親睦）こそロータリーが存続する絶対条件と考えておられるクラブもありますが、フェローシップ（親睦）はロータリー活動そのものではなく最上の土壤であり奉仕活動がロータリー活動の大きな目的であり充実した奉仕活動の結果、出席率も向上すべきと考えております。どうぞ皆様方の絶大なご協力をお願いしまして挨拶とさせていただきます。



ロータリー雑誌委員会委員長  
鹿児島西ロータリークラブ  
**深尾 兼好**

昨年に引き続き、ロータリー雑誌委員長を仰せつかりました。押川年度では、ロータリー雑誌委員会はクラブ管理部門に所属し、国際ロータリーの公認誌「The Rotarian」もしくは地域紙「ロータリーの友」の精読を推進するための方策を検討し実施すると共に、一般市民へのロータリー理解を目的として友誌の活用を図る。クラブを訪問し例会での定期的な記事紹介について話し合う、とあります。「友」誌をご精読頂いている方ならお分かりのように、日本ロータリアンの機関紙、情報誌「ロータリーの友」は、極めて巧みに編集された雑誌で、RIの情報からロータリーの奉仕の基盤、五大奉仕の現状、

更には日本各地のロータリークラブの活動紹介、文化的交流まで広く掲載されています。言ってみれば、最新のロータリー情報を満載した最良のテキストです。クラブで企画実践する奉仕活動に、親睦に、退会の防止に、地域社会での認知にお役立ていただくため、当委員会では、公共イメージ部門、ロータリーの友代表委員と協力して、昨年に引き続き、ロータリーの友をテキストとした公共イメージの充足とクラブ活性化のための「研修セミナー」を企画します。勿論、要請があれば地区委員をクラブに派遣し「ロータリーの友」の魅力をPR、友地区代表委員が執筆するWEBブログ「ロータリーの友を読もう」を活用し、例会に於ける当月の「友」の見どころ紹介の定例化も図ってまいります。併せてガバナー月信でも「友」の情報を発信し、そのバックアップを図ります。「ロータリーの友」はロータリアンすべてにとって、広場であり教場です。1年間、ご協力をよろしくお願いします。



職業倫理(4つのテスト)委員会  
委員長  
奄美ロータリークラブ  
**福永 健一**

国際社会に貢献できる職業奉仕を！！  
=それができることが ロータリーアンである=

相手を思いやる心 大きくは世界に奉仕する心が自己を救うことになり、世界の平和に尽くすことになる。利他の心をもってはじめて職業奉仕は成り立ち、職業が正しく実践され遵守されているか確かめるのが「四つのテスト」であり、職業倫理である。

世界の環境も大きく変化する中、ロータリーも大きく変わり前進しなければなりません。ポールハリスも世界は常に変化している。ロータリーはこの世界とお供に変化していくなければならない。ロータリーの物語は幾度も書き換えられなければならない。と言っております。

しかし人が人である以上、人間が人の心を持つ以上、この世の中に不变の真理があるのもまた真実であります。その不变の心が  
ハーバード・J・ティラが「四つのテスト」の指針を提唱（1932）



- 1、真実か どうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるか どうか

そしてプラス1、みんなに喜んでもらえたか(福永健一)

- ・ロータリーは、ポール・ハリスの世界に『世界に奉仕の理念』(1907)に沿って
- ・アーサー・フレデリック・シェルドンの『サービス学、管理学を学び 実践している行動』(1908)が
- ・ティラーの『四つのテスト』に照らして確認、チェック機能の役割を果たしているか理解し
- ・ドナルド・カーターが提言した『自分だけの利益を追求してはいけない』『相手の立場を考えることが大事!!!』(1906)

とポール・ハリスに伝えています。

いわゆる奉仕(サービス)は、正確さと思いやりの心が大切です。倫理委員会では、個々の見解・捉え方の違いはあると思います。そのような違いを『プラス1』へまとめていく勉強会をしていけたらいいと思います。

“ロータリアンは職業を通じて社会に貢献していかなければならない” “ロータリアンは職業を通じて生活水準を向上させていかなければならない”

奉仕・貢献・シェア



職業情報・サービス研修委員会  
委員長  
宮崎中央ロータリークラブ  
**江 島 寛**

2017~2018年度奉仕活動部門に属する職業情報・サービス研修委員長に就任いたしました。

当委員会は、大重ガバナー年度に新設された委員会でまだ2年目の新しい委員会です。大重前ガバナーは、「The ideal of Service」を「奉仕の理想」と訳したために、このすばらしいロータリー用語があいまいな理解のまま今日に至っていると指摘され、この用語は「サービスのアイデア・理念・心」であるとわかりやすく解さ

れた上、ロータリーの根幹はサービスであり、職業奉仕とは、「サービスの心」をもって自分の事業を行い、自分の事業を繁栄発展させることだと説かれています。

押川ガバナー年度においても当委員会は存置され、今後も存続していくものと思います。

私は、この「サービスの心」について理解を深め、地区内のロータリアンがどのような職業において「サービスの心」を具体的に実行されているかにつき情報を収集し、皆様に披露できる機会や研修できる機会を持ちたいと存じます。

そのためには地区の会員の皆様の御協力と御支援が不可欠でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



社会奉仕委員会委員長  
日向東ロータリークラブ  
**児玉 富喜夫**

2730地区、押川弘巳ガバナー年度の社会奉仕委員長を仰せつかりました、日向東RCの児玉富喜夫です。

本年度のRIテーマ「ROTARY: 変化をもたらす」は、実践に重点を置き『変化をもたらす』行動で、ロータリー活動に突き進んでいくことで、地域社会に奉仕するロータリーの繁栄と喜びがあります。

ライズリー会長は、環境問題は深刻な問題となっていることから、新年度より2018年4月22日の「アースデー」までの期間に、各クラブで会員数と同じ数の植樹をするよう呼びかけました。木を植えることで、空気中から二酸化炭素やそのほかの温室化ガスを除去し、地球温暖化のスピードを和らげる効果があります。この取組みで世界のロータリアンの人数に匹敵する120万本の新しい樹木が植えられ、環境への良い影響があることが期待できます。地球そのものを救う責任がロータリーにもあると私たちは気づき、このことにより2730地区、押川ガバナー年度では、重点課題として会員数に匹敵する植林を実施していきます。会員並びに緑化木団体などと情報の共有をおこない、樹種は広葉樹を主体に植栽する場所の選定を各クラブで協議することをお願い致しております。

また、皆様の身近に各地域の活動に手助けを必要とされている団体、個人の方が皆様の周りにいらっしゃるこ



とと思います。公共・広報イメージ戦略の一環として地域社会に奉仕するという立場から、こういった方々や地域社会が求めているニーズに対応すべく手助けをしていただくことも私たちの使命であると思います。地区補助金（DDF）を使った奉仕もできますので各クラブで協議をしていただきたいと思います。

以上を踏まえ本年度のRIテーマ「ROTARY：変化をもたらす」ということで是非とも社会奉仕に各クラブのご協力をお願い申し上げます。



国際奉仕委員会委員長  
延岡東ロータリークラブ  
**田島 幹洋**

今年度奉仕活動部門国際奉仕委員長を担当させていただく事となりました。

地区研修・協議会資料にも書かせていただきましたが、野中ガバナ一年度では、インドR I第3000地区とロータリー補助金を活用してのR Iで初となるメンタルヘルスについての奉仕事業である「健全な精神に向けての私たちの使命プロジェクト」を実施し、大重ガバナ一年度でも同じくインドR I第3000地区とのグローバル補助金事業「学校へのトイレ・水飲み場・手洗い場の建設事業」を計画中で実施は押川ガバナ一年度を予定しております。この事業については、先の7月12日より大重直前ガバナー・野中バストガバナーに同行してインドを訪問させていただき、メンタルヘルス事業のその後の進捗状況、トイレ等建設予定学校の訪問等、大変充実した視察をさせていただきました。

合わせて、帰国時にスリランカを経由し、5月に発生したスリランカ大水害の義援金をR I第3220地区、ソマワンサガバナーに手渡す事が出来ました。

その意味でも、ロータリー財団部門と連携した活動の必要性を感じております。

また、現在では、韓国R I第3661地区・同じく3721地区と姉妹地区盟約を結んでおりますが、本年度は押川ガバナーの強い想いで、もう一つの隣国台湾との姉妹地区盟約締結を実現させたいと考えております。

現在、当地区内には、韓国・台湾・アメリカ等35もの海外姉妹クラブ・友好クラブがあり、交流を深めておられます、国際奉仕、国際交流の観点から、まだまだ

姉妹クラブ・友好クラブ締結を推進する必要があると感じます。

私の所属クラブでも、R I第3630地区韓国西安東ロータリークラブと35年に渡り姉妹クラブとして交流を続けておりますが、この機会に台湾とのクラブ交流を実現させようと鋭意検討している所です。

単なる海外クラブ交流だけではなく、ロータリー財団地区補助金を利用した奉仕活動等も推進出来ればと思います。

最後に国際交流の観点から国際大会の参加も重要です。私も最近では、アメリカサンゼルス、ブラジルサンパウロ、韓国ソウル、アメリカアトランタと国際大会に参加させていただき、その度に感動を覚えました。

世界200を超える国と地域からロータリアンが集う国際大会こそ、国際交流の最高の機会だと思います。本年度は2018年6月にカナダのトロントで開催されます。ontoトロント委員会と連携して、国際大会参加を推進し、トロントでの地区ナイト開催に向けての準備をしたいと思います。

合わせて、9月の韓日親善会議2017、来年3月の台日親善会議2017につきましても国際交流の場として協力させていただきたいと思います。

1年間ご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



ライラ委員会委員長  
加治木ロータリークラブ  
**鈴木 俊二**

この度地区RYLA委員会の委員長を拝命いたしました加治木ロータリークラブの鈴木俊二と申します。この1年間どうぞよろしくお願ひいたします。「ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）」とはクラブや地区によって実施される、14~30歳の若者のためのリーダーシップ養成プログラムです。

1日のセミナーや2日間~1週間の合宿など、さまざまな形で実施されていますが、基本的にリーダーシップ・健全な市民・自己啓発の3点を主眼として世界中で行われています。

参加者はロータリーにかかわった経験がある若者（ロータリーファミリー）と、ロータリーは初めてという若者の両方を含めるのが理想的といわれています。イ



ンターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生は、RYLAに参加することで、ロータリーでの経験を積み、リーダーシップスキルを高めることができます。さらに、ロータリーにまったく触れたことのないほかの参加者に対して、ロータリー良さを伝え、地域社会でロータリーの輪を広げるきっかけを作ってくれます。RYLAは地域での公共イメージを向上させ、また会員の増強にもつながる活動であるのです。

現在地区内、鹿児島3ヶ所、宮崎2か所の5カ所で各クラブがホストとなり開催して頂いておりますが、ぜひインターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生などの参加を求めて頂きたいと思います。出来れば企画段階から参画して頂き一緒にになって、またアクター等が主管となって運営を進めて頂きたいと考えています。本年度も各地域の中でロータリーを広め、インターアクター、ローターアクターなどの会員が増えることを期待しています。

またさらに近い将来、現在5カ所で行われているRYLAを2カ所程度に減らし予算を集中させることでより良いカウンセラーの招集などさらに質を上げたRYLAなどを進めていきたいと考えています。

本年ホストとなっている各クラブのRYLA委員の皆さん、また会長をはじめ会員の皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。



ローターアクト委員会委員長  
加治木ロータリークラブ  
**岩澤 浩二**

今年度地区ローターアクト委員長を務めさせて頂きます。どうぞよろしくお願ひ致します。と共に、日頃からRACに多大なるご理解とご支援を頂き、心から感謝致します。そして地区内会員一人ひとりの熱いご声援をこれからもどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

さて、当地区内のローターアクトクラブは七月現在で19RACが活動しています。ここ十年間で凡そ10RAC近くが活動を止めたり、解散したりしています。しかし全国的に見ますと当地区はクラブ数の多い方の地区ではありますが、会員もかなり減少しています。原因として考えられますのは、世代交代や若者へのアプローチの方法に悩んでいるかと思われます。

ところで当地区ではRAC発会から48年経つクラブがあります。このクラブがずっと隆盛で今日まで継続してきた訳ではなく、危機に直面した時に、RC会長をはじめ会員と共に何とか上向きになる様に必死に努力されたからこそだと思っています。そのアクターも今では結構な年令に達し、元気に家庭に地域に社会に根ざして貢献している方も中には居られるでしょう。これまでロータリーが継続的に支援指導したことの証しとして、また有難い事に今でもこのRACだけではなく広くロータリーから経験と発想を学び将来を切望されています。

国際ロータリーが提案した青少年への常設事業の素晴らしい一つとして、またロータリーのパートナーとして、未来へのバトンタッチが順調に行く様に指導し続けて行こうと思います。

最後に、ロータリーは112年を迎えます。ローターアクトは50年を迎えます。この機会に皆様がローターアクトを側で見て戴く事を切にお願い申し上げ、更にご指導ご鞭撻をどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



青少年交換委員会委員長  
霧島ロータリークラブ  
**丸野 史朗**

現在、毎年約8000名以上の国際ロータリー交換留学生が、80カ国で生活し、勉学や国際交流に励んでおります。

2017-18年度2730地区は3名(都城北・国分・鹿児島サザンウインド)を派遣。2名(カナダ・フィンランド・ポーランド)の受入れが決定しております。

今後、5名まで交換の増員を目指しておりますがご理解とご協力の程、よろしくお願ひいたします。

青少年交換プログラムはRIの常設プログラムになっており、任意の地区とはできずRIが認定した地区間でしか出来ません。認定を受ける為に全国青少年委員長会議(RIJYEC)と(財)日本青少年交換委員会が設立されます。この2団体はRIと定期的に情報交換を行い、青少年交換の為の安全な地区を認定しています。これはロータリーのネットワークが国際的で人道的な理念をもって活動している事を示しています。

委員会活動の中心は派遣・受入学生のサポート、ホストクラブ・ホストファミリー・受入学校等のサポートで



す。また、地区内に交換留学プログラムの素晴らしさを認識して頂く様に広報等に努めております。さらに年間を通じての福岡地区・長崎地区、熊本・大分地区との共同交流事業等を安全にかつ楽しく運営し他地区との総合交流・相互協力にも努めます。

また地区内クラブ例会や地域のイベント等に参加・協力をさせて頂き、国際交流・国際理解の一端を担います。

RIは交換留学生の安全を確保する為に危機管理を徹底するように通達してきております。世界中で8000名の学生がこのRI交換プロジェクトを活用している現在、危機管理は最重要事項と位置づけられております。この事を地区青少年奉仕部門全体や委員会全員で共有してまいります。

委員会は毎月開催されますが、活動を通じ、委員会の結束を強く持ち、成長していく交換留学生を見守って一年間活動して行きます。



補助金・ポリオプラス委員会委員長  
鹿児島ロータリークラブ  
**山ノ内 文治**

2017-2018年度補助金・ポリオプラス委員長を仰せつかりました、鹿児島RCの山ノ内文治です。

補助金・ポリオプラス委員会では各クラブ様からの補助金申請を公正に、厳正に、審査して配分することです。補助金を活用した人道的プロジェクトの計画、立案等、また最終報告に至るまでのR財団との連絡・調整及び当該ロータリークラブへの助言を行います。

昨年度はロータリー財団100周年ということで、昨年のソウル、今年のアトランタの各国際大会に出席してきました。アトランタでの感動的なオープニングでの催しは忘れられません。

有村財団部門長もご挨拶の中で掲げられておりましたが、100周年の目標「財団への寄付0クラブを今年は消滅・達成」できればと思っております。

ポリオプラスに関しましても、あと僅かであります。引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。



年次寄付・恒久基金委員会委員長  
西都ロータリークラブ  
**上田 普**

慎んで就任のご挨拶を申し上げます。

ご指名により委員長をお引き受けすることになりました、西都ロータリークラブの上田普と申します。

どうぞよろしくお願い致します。

年次寄付と恒久基金による資金は、3年後に国際財団活動資金（WF）と地区財団活動資金（DDF）として地域、そして国際社会へ還元されます。

地区補助金の活用により、クラブプロジェクトを通じてクラブと会員の活性化となり地域社会に貢献出来ます。

公共イメージも向上し会員増強につながります。

各クラブのフォーラムにて年次寄付・恒久基金への関心と理解を深めていただき、寄付の目標を達成出来るよう支援して下さい。

多くの奉仕活動はロータリアン一人一人の寄付の結晶であります。

ロータリー財団への意欲を高めていただき、活動を推進し大きな結晶に致しましょう。

お願い申し上げます。



奨学金・世界平和フェローシップ  
委員会委員長  
鹿児島サザンウインドロータリークラブ  
**佐藤 俊一**

奨学金について

グローバル補助金におけるこの奨学金制度は、奨学生が海外留学を通じて、国際理解と親善を邁進し、その国際経験と視野を持って、ロータリーが掲げる6つの重点分野に必要な知識と学力を身につけ、社会人として成長・貢献をしていくことを目的とします。

また、ロータリークラブと地域社会とが積極的に交流することによって、派遣国と受け入れ国の架け橋となることを目的といたします。

この事業は、募集から申請手続きまでクラブが主体となり実施します。



## 世界平和フェローシップ

1998年、ロータリー財団は、世界各地区の7つの大学と提携し、平和及び紛争解決分野における国際問題研究のためのロータリーセンターを設立し、様々な国あるいは文化圏から選ばれたロータリー世界平和フェローのために専門的な教育の期間を提供しています。

毎年およそ100名のフェローが選出され、紛争解決・平和研究または国際関係における2年間の研修課程あるいは修了証プログラムで学びます。地区は毎年、世界競争の選考過程のために1名の候補者を推薦することができます。

ロータリー世界平和フェローの卒業生は、国連や外交官、外務官、経済学者または政策アナリスト等として、世界中の地域社会に大きく貢献しています。

推薦をおまちしております。



職業研修チーム(VTT)委員会  
委員長  
延岡ロータリークラブ  
**佐藤 信博**

今年度のVTT委員会の委員長を仰せつかりました延岡RCの佐藤信博でございます。今年度は下記の要綱で、RI第3590地区（台湾宜蘭エリア）からのVTTチームを受け入れる予定です。鹿児島県、宮崎県の両県に1週間ずつ滞在されますので、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

### 【VTTチームの目的】

台湾には医療保険制度はありますが、介護保健制度はありません。今回の目的は、台湾3490地区の医師と看護師・介護士・ケアマネージャーからなるVTTチームが、鹿児島・宮崎の介護施設等で日本の介護制度や設備、実際のケア方法などを学ぶことです。

### 【大まかな日程】

9月29日：来日、鹿児島空港から宮崎市へ移動  
9月29日～10月1日：地区大会参加（宮崎市）  
10月1日：延岡市に移動  
10月2日～6日：延岡市での研修  
（ホームステイ：10/2～3泊）  
10月4日：延岡市長と接見、延岡市介護保険課での介護

### 保険説明、地域包括支援センター見学

10月7日：鹿児島市に移動  
10月8日、9日：自由時間、観光  
10月10日～12日：鹿児島市での研修  
（ホームステイ：10/10～3泊）  
10月13日：帰国

### 【予定参加者】

- ・リーダー：3490地区のVTT委員長、医師
- ・メンバー：私立病院の看護部長クラス 6人
- ・通訳1人：楊 意心（Cyndy）さん：元米山奨学生、台北東海RC会員

### 【お願い】

- ・ホームステイ先、募集中  
(延岡市、鹿児島市：3泊づつ)
- ・研修先、募集中（延岡市、鹿児島市）
- ・歓迎会・送別会への参加（延岡市、鹿児島市）
- ・両県とも公共イメージアップご利用下さい。  
全会員のご理解と関係各位のご協力をお願い申し上げます。



地区学友委員会委員長  
宮崎西ロータリークラブ  
**金丸 憲史**

### ロータリー学友委員会について

2014年4月にロータリー学友の定義が広がったことを受け、これまで地区ロータリー財団委員会の中にあった学友小委員会に代わって、新たに地区学友委員会が設けられました。

ところで、学友とは？

以下のプログラムへの元参加者が「ロータリー学友」と呼ばれています。

インターフェクト、ローターイン、ロータリー青少年交換、新世代交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、ロータリー平和フェローシップ、ロータリーの奨学生（グローバル補助金、地区補助金）、職業研修チーム（VTT）のチームメンバーまたはリーダー、国際親善奨学生、研究グループ交換（GSE）のチームメンバーまたはリーダーなどです。



## 活動計画としては

地区的プログラム学友との関係構築・維持に加え、また学友に関する事柄についてクラブを支援し、具体的には次の活動を計画しています。

- ・地区の他の委員会（特に会員増強委員会、ロータリー財団委員会、新世代委員会）と協力して学友の情報を集め、学友との協力の機会（講演、プロジェクト参加、ロータリークラブ入会、財団への寄付など）を探るほか、学友とクラブを結びつけ、今後もロータリー活動に参加してもらうようする。
- ・ロータリー会員に学友についての知識・理解を深めてもらい、学友がロータリーとの関係を末永く保てるようする。
- ・学友に自らの連絡先などを国際ロータリー（R I）に連絡するように奨励し、また地区のほかの委員長とも協力してプログラム学友が必ずR Iに報告されるようする。
- ・プライバシーと青少年保護の方針、並ぶに国の法律を順守する。
- ・学友行事と学友会を支援し、調整にあたるなど、以上の活動を梶原万次副委員長(日向中央)、上田耕平(鹿児島北)、前田均(鹿屋西)、山崎照代(都城中央)各委員と取り組んで参ります。



米山奨学寄付委員会委員長  
鹿児島城西ロータリークラブ  
**濱田 紘一**

**事業概要：**公益財団法人口ータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが協同で運営する国際奨学事業としては民間最大の奨学団体です。当奨学会では、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

**決算報告：**米山記念奨学事業は、全ロータリアンから毎年いただく寄付で支えられています。2015～2016年度の寄付金収入は15億7738万円と、12年ぶ

りに15億円を突破しました。一方、奨学金・補助費・事業部門人件費などの事業費は12億5748万円と、3年連続で寄付金収入を大きく下回りました。奨学生数を増やしたことにより奨学金や補助費が増えたものの、寄付金収入が好調で、他の費用も抑えられたためです。来年4月からの奨学生採用枠はさらに40人増の780人とし、今後も寄付状況に応じて採用数を増やす予定です。なお、事務費や会合費などの管理費支出は、すべて資産の利子収入で賄っています。

**寄付概要：**全RCから定期的に送金いただく「普通寄付金」と、個人・法人・クラブから任意でいただく「特別寄付金」の二種類があります。当事業は皆様のご寄付だけで成り立っていますので継続的なご支援をお願いします。ちなみに2015～2016年度の全国平均寄付額は一人あたり年額で普通寄付金4,760円、特別寄付金13,019円の計17,779円です。なお、当2730地区は一人あたり年額両寄付で10,990円で全国34地区内26番目で全国平均寄付金額の61.8%でした。

**財政寄付：**基本財産と特別積立財産合計75億もあるのはなぜ？

監督機関であった文部科学省の指導を受け、財団法人を構成する基本財産として50億円を積み立ててきました。また、特別積立財産は不測の事態に備え、奨学金を保証するために必要なものです。いただいた寄付金を全額奨学事業に使うために、こうした資産の運営益で管理費支出（6,460万円）を賄っています。又、寄付に対する各種表彰制度や、税制上の優遇措置もあります。

## 地区目標

- ・出席、親睦、寄付が原点
- ・各RC周年事業として、クラブより米山への寄付（例 30周年事業として30万円）
- ・年度目標

普通寄付	1人年間	5,000円（義務）
特別寄付	〃	10,000円以上（任意）
各クラブごとで寄付献金袋の有効活用		
1人1日10円で		
10円×365日×地区全体2,400人		=8,760,000（年額）



米山奨学選考委員会委員長

西都ロータリークラブ

**野間 隆文**

西都RCの野間隆文です。宜しくお願いします。

さて、ロータリー米山記念奨学会は、50周年を迎えます。

ホームページを見ますと、ロータリー米山記念奨学会は、将来、母国と日本との懸け橋となって、国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

優秀とは、①学業に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、②異文化理解と③コミュニケーション能力への意欲や能力に優れている点が含まれます。ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通じて日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

しかし、米山学生の選考にあたって、『なぜ、一か国が多いのか』『家庭が裕福なのに奨学金か?』などのご意見を伺います。なぜでしょう。

奨学金という言葉に誤解があるからです。人材育成基金とでもすると理解度が上がるかもしれません。2730地区の裁量権を駆使して、素晴らしい奨学生を選定したいと思います。

すでに、指定校決定後、各大学からHPで募集をかけます12月資料選考、1月に面接を行い、奨学生を選定します。

世話クラブ・カウンセラー制度が奨学生を育てます。世話クラブ・カウンセラーの選任を行いますが、その際は、なにとぞご協力を宜しくお願いします。奨学生ロータリーの神髄を示し、日本文化を伝え、日本と祖国の架け橋に育てて下さい。



米山学友委員会委員長

鹿児島中央ロータリークラブ

**楠 茂吉**

20年前とそれ以前、米山記念学生は受験する時には、非常に有難いお金でアルバイトをしなくて勉学に一生懸命になれる有難いお金ですと云って、奨学期間を終えるとあとは全く連絡が取れない状態でした。

なぜ20年前かと云うと、私が地区委員になったのが20年前でした。私のクラブもそうでしたが、どのクラブに聞いても卒業後の足取りが全くつかめないと云う返事でした。奨学期間中はあれ程親しくクラブの全員と会話していたのに・・・当時の米山総裁でした島津さんともこの事についてお話をした事でした。丁度20年前に私共のクラブの米山奨学生とこの事を話しましたところ、奨学生もその地域に於いて立派な紳士で社会的にも確立された方々なのに、私達も卒業後もお付き合いしたいのですけどと云う返事があり、なる程そうかと思いました。

丁度その頃「卒業生の集い」すなわち学友会なるものが九州では福岡にあるらしいと云うのを聞きまして、私もよく福岡出張がございましたので3ヶ月に1回の福岡地学友会の例会日に合わせて見学させてもらいました。5、6人の出席でしたが、和気合々と中国語でお話しされて居る様子を見まして、これだったら私共2730地区にも出来そうな気がして帰鹿する事でした。これから作る作業に入る所は又の機会に報告します。





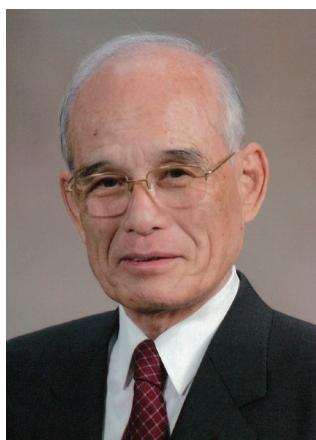
## 国際ロータリー第2730地区 地区大会 会長代理に RI 元理事 南園義一様 (D2710 防府RC) が任命されました。

地区ガバナー Oshikawa 様

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私と妻ジュリエットより、2017-18年度地区ガバナーに就任された皆さまに、心よりご祝福申し上げます。皆さまとともに、チームとなって素晴らしいことを成し遂げられることを願っております。地区大会は、地区リーダーとの交流を深める最高の機会です。私ども夫婦も世界中すべての地区大会に出席したいというのが本望ですが、残念ながら現実にはそれが叶いません。つきましては、30-Sep-2017 and 01-Oct-2017に Miyazaki, Japan にて開催される貴地区大会に、会長代理として、経験豊かなRI 元理事Yoshikazu Minamisono 様を任命させていただきました。

2017-18年度国際ロータリー会長  
イアン H. S. ライズリー



### 略歴 南園義一 (みなみその よしかず)

所属 : RI第2710地区・防府RC

職業分類 : 胃腸病院

### 職歴 1966年: 防府胃腸病院開設

1979年: (財) 防府消化器病センター・防府胃腸病院長

1998年: (財) 防府消化器病センター・理事長

現在 : (財) 防府消化器病センター・顧問

### 団体歴 1994-1996年: 防府医師会長

1996-2000年: 山口県医師会・監事

1993-2012年: 防府市国際交流団体連絡協議会・会長

現在 : 防府医師会顧問

現在 : 防府市国際交流団体連絡協議会顧問

RI特別表彰、RI会長代理15回、山口県選奨賞受賞、

ロータリー歴 1978年5月 : 防府RC入会	2004-2005年: RI超我的奉仕賞選定委員会・委員
1991-1992年: 防府RC会長	2004-2005年: ロータリー栄誉賞選考委員
1997-1998年: RI第2710地区・ガバナー	2005-2006年: RI理事会・プログラム委員会・委員長
1998-1999年: RI会員増強タスクホース・コーディネーター	2006-2007年: 2008-2009年度、RI会長指名委員
2000-2001年: RI広報タスクホース・コーディネーター	2007-2013年: RI戦略計画委員会委員(6年間)
2000-2002年: RI国際協議会・研修リーダー(2年間)	2008-2009年: RIバーミンガム国際研究会委員
2001-2003年: ロータリー財団RRFC (3年間)	2008-2009年: 2010-2011年度、RI会長指名委員
2003-2004年: ロータリー財団恒久基金・アドバイザー	2008-2011年: RI東アジア及び日本支部委員長・現在、顧問
2004-2006年: RI理事(2年間)・国際ロータリー100周年	2009-2013年: ロータリー財団恒久基金・日本支部アドバイザー
2004-2005年: RI理事会・財務委員会・委員	2016-2017年: ロータリー財団100周年特別講演者
2004-2005年: RI未来委員会・連絡担当理事	

表 彰 ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、米山功労者、ベネファクター、メジャードナー、遺贈友の会会員、ロータリー財団功労賞、アメリカ・モンロー市友好市民賞受賞、RI特別表彰、RI会長代理15回、山口県選奨賞受賞
--



# 第1回諮問委員会開催

日時：平成29年7月22日(日) 場所：シーガイアコンベンションセンターサミット



2017年7月22日(土)に宮崎のシーガイアコンベンションセンターにて第1回の諮問委員会が行われました。総勢22名参加で開催され今後のロータリークラブについて話し合いがありました。

1. ガバナー挨拶 2. 第3ゾーン戦略計画推進セミナーの報告 3. 国際ロータリー第3000地区検証結果の報告 4. ガバナー候補者各クラブへの推薦の件 5. 規定審議会制定案・決議案に関する件 6. 規定審議会代表議員に関する件 7. 地区大会に関する件 8. 地区委員会委員の任期に関する件 9. 地区事務所に関する件 10. 地区資金(委員会費)に関する件 11. 九州北部集中豪雨災害義捐金に関する件 12. ガバナーエレクト事務所報告 といった内容で会議が進みました。



押川ガバナーの今季にかけるお話から始まり、議題に沿って各ガバナーから活発な意見交換が行われました。その中で、大重ガバナーがグローバル補助金を使用してメンタルヘルスの施設をつくったインドへ検証に行かれた報告がありました。現地で見てきた生活用水やトイレ事情、医療関係の情報もお話をされました。また、スリランカへ行って洪水被害の1万ドルの義援金をお届けになられた報告もありました。ロータリークラブが支援しているもの、これから支援していく事の発表もなされ、

皆様の寄付金が有効に使用されていることが分かり大変勉強になりました。

大家族懇親会が場所を移して季節料理かわのにて行われました。終始和やかな雰囲気で行われ、奥様方も初顔合わせの方もいらっしゃったようですが、宮崎・鹿児島の奥様同士で懇親を深められる良い機会になったかと思います。懇親会内でもガバナー、パストガバナーよりロータリークラブについてご指導いただき大変貴重な1日となりました。ご参加くださった皆様誠にありがとうございました。



# 2017ガバナー公式訪問報告

日 時：平成29年7月19日(水)

場 所：川内ホテル

薩摩川内ロータリークラブ 会長  
西 村 福 吉



新年度開始早々、3回目の例会日に、押川  
弘巳ガバナー・阿多優二ガバナー補佐・長嶺貴臣地区幹事をお迎えして開催致しました。

午前11時にガバナー・ガバナー補佐・地区幹事・会長・幹事・会長エレクト6名により、緊張感に包まれながらも和やかな雰囲気の中でロータリー、当クラブが抱える問題等に忌憚ない意見交換ができました。目からうろこの話もあり。ロータリーは奥が深く、学ぶことが多いと感じ入りました。

続いての例会では、新入会員の若松和郎君、池田直樹君の2名がガバナーより会員証を手渡して貰い、二人にとって心に残る例会になったことと思います。

クラブフォーラムでは、「会員の増強の問題点・クラブの戦略計画、クラブ研修の進め方」をテーマとして会員増強の難しさ、一筋縄ではいかない事、クラブ戦略計画イコール会員増強だと会長の私が話して、クラブ研修の進め方を福山出席・研修委員長が、この半期でどのように進めるか方向性を示し、残りの半期で実践していくかと述べました。

ガバナーは、それらに対し、クラブ運営の柔軟性・例会の見直し・例会の緩和ができる様になったと、的確にアドバイスされましたので、当クラブの前に進む道筋が見えた気が致します。

それにプラスして、マイロータリーの情報をうまく活用する事、グローバル補助金/地区補助金をうまく取り込んで、クラブ奉仕に利用する事等、様々な意見を戴きました。

助言を当クラブの運営に取り入れて、より良い活動がやっていけたらと思います。せっかく入会された会員を絶対に退会させないためにクラブ出席・研修委員会をリーダーとして、下記の流れで勉強会を開いて参りたいと思います。

- ①ロータリーを知ってもらう
- ②ロータリーを楽しんでもらう
- ③行動に移し、実践してもらう。

ロータリーに触れた事がきっかけで、我々の人生に素晴らしい変化がもたらされたならば、創設者ポールハリスは天国で至福のひと時に浸っているのではないでしょうか!



# 第5期RLI-2730 パートI

## 第5期RLI-2730パートI開催の報告

第5期RLIパートI運営委員長 鳥山 浩

2017年7月29日(土)宮崎市で第5期RLI-2730パートIを宮崎日本大学高等学校の教室を利用して開催しました。

第4期RLIは鹿児島市で行われましたが、参加者が少なく、今回は特に押川ガバナーから、ガバナー補佐の方々に参加促進をお願いしました。

しかし、締め切り日は20名の申込みで、さらに各クラブ会長・幹事にお願いして参加を呼び掛けましたところ、開催日3日前にやっと47名(鹿児島県20名、宮崎県27名)になりました。ご協力ありがとうございました。

お陰様で当日、天気も良く、誰一人欠席もなく、順調に進行することができ、6名の方が卒業されました。RLIに参加して大変勉強になった。クラブに帰って一人でも多く受講するよう説得します。と感想を述べていただきました。

また、評価表の回答で、他人の意見が聞けて大変参考になりました。全員の方が勉強になったと思います。勉強したことを今後に活かしたい。ロータリーのことが少し理解できた。等々の言葉を戴きました。

そしてRLIの改善点で、半日コースや時間を短縮してもらいたいと、ありましたが、RLIは丸一日かけてのコースになっています。これは全世界共通なので、どうすることもできません。場合によっては、開始時間を早め、終了時間を16時にするなど、参加しやすいよう検討して参ります。

今回のディスカッション・リーダー(D L)は、宮崎県の方々を優先し、鹿児島の方々にも参加していただきました。これからは、開催県の方で行えるようにしたいものです。

今回も参加促進に苦労しました。各クラブの会長・幹事の方は、参加希望者に受講させてなく、役員及び次期役員予定者を参加させるよう理事会に諮り、義務としてお願いしたいと思います。そうすることにより、ロータリーを知り楽しい例会作りに寄与するものだと思います。

パートIIの日程は未定ですが、同じ会場(宮崎日本大学高等学校)で9月に開催する予定です。決定次第ご案内します。

最後に、押川ガバナーはじめ、RLI役員の方々、D L・運営委員の方々、ご協力誠にありがとうございました。お礼申し上げます。

第V期 2730RLI Part1 日大宮崎高校

2017(H29).07.29(土)

押川弘巳ガバナー 秦喜八郎RLI委員長 田村智英ファシリテーター  
喜島健一郎ガバーナーエレクト・デジグネート 鳥山浩実行委員





- 自由にディスカッションに参加してください
- 注意深く聞きましょう
- 経験を自由に語り合いましょう
- 本題から離れないように注意しましょう
- 他人の発言に対して寛容に
- 自分と違った視点に対し感謝しましょう





# RID2730広報・公共イメージ部門クラブ委員長会議

広報・公共イメージ部門 部門長 尾形 栄(延岡RC)

RID2730広報・公共イメージ部門クラブ委員長会議が、7月15日、13時から16時、メインホテル（都城市）霧島の間に於いて、51名の参加で開催されました。

プログラムは国際ロータリー第3ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター補佐(ARPIC)の山下皓三PDGから「地域社会に密着したロータリーの広報活動」についてプレゼンをしていただき、公共イメージ部門からは広報・公共イメージ活動の課題と対策、My Rotary、WEB、IT(新設のCloud box等)、またホームページ等や各メディア、撮影についての講習に関する解説、質疑応答をいたしました。委員会の最後のプログラムで「公共イメージと広報」についてのグループディスカッションを行い、参加者の皆様は活発な意見を出し合っておられました。

なお、9月16日（土）10時から15時30分、JA·AZM ホールに於いて「RID2730 公共イメージ向上セミナー」を開催いたします。国際ロータリー第3ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC) の横山守雄PDG（大阪中央RC）をお招きしてのセミナーです。今回の委員長会議の内容の拡大版を考えています。

7月15日の会議に参加できなかった方、参加されたい方はふるってご参加ください。





# 地区行事日程

日 程		行 事		時 間	場 所	摘 要
2017 9月	2~6	土~水	RA ローターアクト世界大会		台湾台北市	
	4・5日	月・火	ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)		グランドプリンスホテル新高輪(東京)	川原GEとパートナー
	6日	水	地区研修リーダーセミナー(DTLS)		グランドプリンスホテル新高輪(東京)	秦バストガバナー
	9日	土	ガバナー補佐会議		ホテルマリックス	押川IG・G補佐
	23日	土	第14回ロータリー日韓親善会議2017		グランドハイアット・ソウル	
	24日	日	第5期RLI-2370パートII		宮崎日大高校	
	29日~10/13		台湾からのVTT受入れ		延岡市・鹿児島市	
	29日	金	記念ゴルフ大会		フェニックスカントリークラブ	押川IG・役員
			RI会長代理歓迎懇親会		シーガイアコンベンションセンター	
	30日	土	地区大会		シーガイアコンベンションセンター	
2017 10月	1日	日	地区大会		シーガイアコンベンションセンター	押川IG・役員
			第2回地区訪問委員会(朝食会)		シーガイアコンベンションセンター	
			G補佐・部門長・クラブ会長・幹事合同協議会		シーガイアコンベンションセンター	
	7日	土	RA 第1回RA地区合同委員会			
		土	RI第3ゾーンロータリー戦略計画推進セミナー		広島	
	7・8日	土・日	第2回受入学生オリエンテーション		長崎おくんち	青少年交換委員会
			福岡・佐賀・長崎合同ツアー			青少年交換委員会
			派遣学生募集説明会(2018-19)			青少年交換委員会
			IA 第6回全国インターラク研究会、委員長会議		埼玉県	
			IA インターラク委員 会議			
2018 11月	14日	土	第1回地区RA委員会合同委員会		都城市地区事務所	
	11・12日	土・日	RA 第46回地区RA年次大会		都城市	
			地区青少年奉仕委員会			
			ロータリー財団地域セミナー		東京	
	18日	土	鹿屋西ロータリークラブ創立40周年記念			
	22・23日	水・木	ロータリー研究会		グランドニッコー東京(台場)	PG・G・GE・GN・G補佐他
			都城島津発祥まつり 参加		都城市	青少年交換委員会
	23日	木	派遣学生選考会(2018-19)			青少年交換委員会
			派遣学生決定・発表			青少年交換委員会
			第3回受入学生オリエンテーション		鹿児島・宮崎	青少年交換委員会
			福岡・佐賀・長崎合同ツアー			青少年交換委員会
			次年度第1回ガバナー補佐会議		都城市 メインホテル	



# ★文庫通信★

359号

「ロータリー文庫」は、日本ロータリー50周年記念事業の一つとして、1970年に設立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFをご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

## 地区大会講演より

書名	著者/出版社	発行年	頁
Rotary一かえりみて、あすを考える	久野 薫	2017	16p (D.2630地区大会)
ロータリアンの矜持	藤川享胤	2017	8p (D.2590地区大会の記録)
2020年東京オリンピックのレガシーとロータリーの多様性	水野正人	2017	7p (D.2590地区大会の記録)
危機管理の人生	安斎 隆	[2017]	12p (D.2530地区大会記念誌)
2030年、そのとき日本は	国谷裕子	[2017]	2p (D.2640地区大会記録誌)
みどりの力で心の復旧・復興を	涌井雅之	[2016]	11p (D.2530地区大会記念誌)
人はどうがんと向き合うか?	垣添忠生	2017	4p (D.2710地区大会特集号)
青森県の短命県返上活動の現状	中路重之	2015	7p (D.2830地区大会記録誌)
障害者アートで社会を変える	播磨靖夫	[2016]	5p (D.2640地区大会記録誌)
フランス人から見た日本文化のあれこれ	リシャール コラス	2017	4p (D.2780地区大会報告書)

〔上記申込先:ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号 黒龍芝公園ビル3F

TEL03-3433-6456 FAX:03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

## きもつきロータリークラブ クラブ細則変更に伴う、例会開催日(一部変更)のお知らせ

2016年度の規定審議会に伴う、当クラブ細則につきまして検討致しましたところ、平成29年10月より、下記の通り例会を開催する運びとなりましたのでお知らせいたします。

【平成29年10月より実施】毎月第1週の木曜日を除く、毎週木曜日 12:30~ やぶさめ館にて開催

理事会……第1週目の木曜日(夜)18:30~

例 会……第2週目~は、12:30~ やぶさめ館にて開催



# 米山記念奨学金 7月の寄付金傾向

**7月分合計額 215,083,140円** (前年同期比340万円増)

参考 前年度7月分合計額：211,705,383円

## 普通寄付金

**7月当月 160,913,852円**

(前年度比 3.87%増)  
(〃 600万円増)  
(予算達成率 38.3%)

今月は2,261ロータリークラブのうち、1,457クラブから納入いただき、内200クラブは年額で一括納入されました。(昨年度は1,422クラブ納入の内、年額納入は190クラブ)でした。

ホームページに掲載の寄付金納入明細表の見方ですが、普通寄付受付状況の欄で、(年)と記載されているクラブは年額納入済であり、また(半)と記載されているクラブは上期分が納入済のクラブです。年額納入が可能な場合は、一括でのご送金をお薦めしています。



### 普通寄付は義務ですか？

義務ではありませんが、1967年に財団法人の認可を申請した際、「安定財源がない」と認可に難色を示す文部省(当時)に対し、普通寄付金による一定収入が見込めると説得して、全国全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に設立許可を得た経緯があります。また、この事業は現在、日本全地区が参加する「多地区合同活動」であることをご理解いただき、普通寄付のご協力をお願いしています。



### 普通寄付も所得税の控除対象になりますか？

2010年度より普通寄付金にも所得税・法人税の税制優遇を受けることができるようになりました。当会指定の書式(ホームページに掲載中)に会員名をデータでご提供していただければ、申告用領収書を発行いたします。詳細は当会ホームページをご覧下さい。締め切りは11月末日です。

但し、表彰対象となるご寄付は今まで通り特別寄付金のみです。普通寄付金は申告用領収証を発行するのみで、個人の実績には加算されませんので、ご了承くださいますようよろしくお願いいたします。

## 特別寄付金

**7月当月 54,169,288円**

(前年度比 4.61%減)  
(〃 260万円減)  
(予算達成率 5.8%)

7月は普通寄付金の納入が主な月間であるため、特別寄付金は毎年約5千万円前後納入されます。今年度は下記グラフのように直近5年間では一番低い金額だったものの、ほぼ例年並みの滑り出します。これからも一人でも多くの奨学生を支援するために、今後とも引き続きご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### ★ 創立記念寄付クラブ

D2670 高松RC 20万円 D2710 広島西南RC 32万円

### ★ 高額寄付者(一度に100万円以上の寄付)

D2790 匿名希望者 100万円 累計1,030万円  
D2590 横浜RC 高垣清史氏 500万円 累計503万円  
D2680 神戸西神RC 丸尾研一氏 100万円 累計400万円

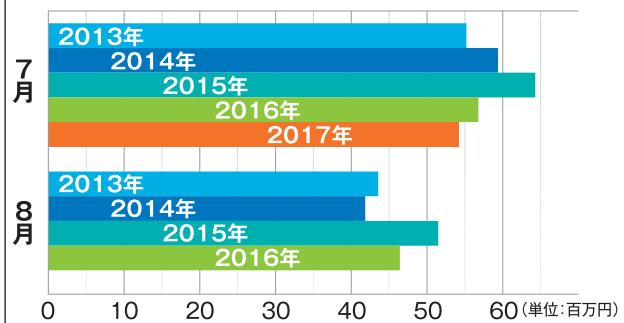
### ★ ガバナー公式訪問

D2590 川崎南RC 10万円

### ★ 学友寄付

姫軍氏(中国/1995-1997/東京大学大学院/東京臨海RC/  
東京米山ロータリーEクラブ2750会員)  
約50万円 累計570万円

## 月別特別寄付金比較 (2013~2017年度)





# 7月出席報告

日 程	確定出席率%	ホームクラブ出席率%	会員数				
			6月	7月	女性	増減	
(7RC) 宮崎県北部	延岡	87.80	78.64	75	75	8	0
	延岡東	98.76	84.65	63	63	3	0
	延岡中央	92.50	85.50	50	53	5	3
	日向	73.61	68.06	20	20	0	0
	日向東	83.93	78.57	29	29	3	0
	日向中央	92.68	90.24	13	13	2	0
	門川	79.17	79.17	7	7	0	0
平均及び合計			86.92	80.69	257	260	21
増減							3
(9RC) 宮崎県中部	宮崎	92.29	67.87	99	100	6	1
	宮崎西	87.21	72.63	102	102	7	0
	宮崎北	83.67	65.33	72	77	11	5
	宮崎南	81.71	80.00	44	46	3	2
	宮崎中央	80.00	67.44	51	54	5	3
	宮崎東	69.61	59.80	34	34	3	0
	西都	95.20	91.57	21	21	0	0
佐土原			73.90	73.90	26	26	3
平均及び合計			82.54	72.36	494	506	41
増減							12
(7RC) 宮崎県西部	えびの	86.76	83.82	21	18	3	-3
	小林	85.61	86.36	33	33	2	0
	小林中央	96.20	88.50	13	13	0	0
	都城	92.03	79.71	50	49	6	-1
	都城北	93.52	75.93	38	37	4	-1
	都城西	84.55	74.80	44	45	5	1
	都城中央	66.70	78.30	31	31	5	0
japan Current E-クラブ			97.10	97.10	23	23	6
平均及び合計			87.81	83.07	253	249	31
増減							-4
(3RC) 宮崎県南部	日南	93.33	79.17	32	31	1	-1
	日南中央	62.50	61.81	5	11	3	6
	串間	89.74	76.92	12	13	1	1
	平均及び合計	81.86	72.63	49	55	5	6
(7RC) 鹿児島県北部	出水	93.23	90.23	35	36	5	1
	阿久根	96.81	89.36	49	49	9	0
	川内	71.00	60.00	60	60	0	0
	薩摩川内	83.10	67.61	23	24	2	1
	串木野	89.28	89.28	7	7	1	0
	宮之城	97.73	90.91	11	11	2	0
	大口	92.39	83.70	24	24	1	0
平均及び合計			89.08	81.58	209	211	20
増減							2

日 程	確定出席率%	ホームクラブ出席率%	会員数				
			6月	7月	女性	増減	
(5RC) 鹿児島県西部	伊集院	73.53	65.69	27	27	1	0
	加世田	71.15	71.15	13	13	1	0
	枕崎	80.36	71.43	28	28	7	0
	穂村	71.43	69.05	21	21	0	0
	指宿	78.79	75.00	32	33	0	1
	平均及び合計	75.05	70.464	121	122	9	1
(5RC) 鹿児島県中部	霧島	58.30	58.30	18	18	0	0
	国分	98.30	61.34	44	44	8	0
	国分中央	100.00	58.33	27	27	1	0
	加治木	100	71.21	23	23	0	0
	姶良	100	67.19	16	16	0	0
平均及び合計			91.32	63.27	128	128	9
増減							0
(8RC) 鹿児島県東部	志布志	70.00	60.00	21	21	2	0
	志布志みなど	71.07	64.78	41	43	2	2
	串良	94.17	70	33	33	2	0
	鹿屋	87.06	82.08	51	50	3	-1
	鹿屋西	95.21	90.42	57	57	12	0
	かのや東	90.58	81.17	43	44	0	1
	きもつき	85.56	75.56	27	27	0	0
平均及び合計			81.90	71.99	299	301	21
増減							2
(10RC) 鹿児島県市内	鹿児島	71.91	64.68	66	68	3	2
	鹿児島南	83.04	64.29	40	39	8	-1
	鹿児島西	77.82	64.73	72	75	0	3
	鹿児島東南	67.10	97.30	26	25	0	-1
	鹿児島中央	84.5	82.5	54	56	4	2
	鹿児島西南	88.64	77.27	11	11	1	0
	鹿児島城西	78.23	67.74	36	36	3	0
平均及び合計			79.55	74.16	420	426	39
増減							6
(3RC) 鹿児島県奄美	奄美	79.33	68.27	50	52	0	2
	奄美中央	75.59	71.29	54	54	7	0
	奄美瀬戸内	73.33	70.66	18	19	0	1
	平均及び合計	76.08	70.07	122	125	7	3
全体の平均及び合計			83.21	74.03	2,351	2,383	203
増減							32

## 入退会報告

### 入会者

ご入会、おめでとうございます。

小笛 康浩 (出水RC)	谷川 浩章 (鹿児島北RC)	石井正一郎 (宮崎北RC)
重田 隆良 (出水RC)	政岡 和彦 (鹿児島北RC)	石村 真 (宮崎北RC)
江川野陽子 (出水RC)	黒田 正宣 (鹿児島RC)	大峯 康誠 (宮崎北RC)
片野坂理絵子 (串木野RC)	石岡美奈子 (鹿児島RC)	小堀 正貴 (宮崎北RC)
迫田 隆大 (大口RC)	丸山健太郎 (鹿児島中央RC)	中島 淳一 (宮崎北RC)
若松 和郎 (薩摩川内RC)	佐湯 隆一 (鹿児島中央RC)	田口 幸登 (宮崎南RC)
池田 直樹 (薩摩川内RC)	吉留 真一 (奄美RC)	田中 靖彦 (宮崎南RC)
中園 大作 (指宿RC)	幸 進也 (奄美RC)	越山 直美 (宮崎東RC)
宮原 教昭 (国分中央RC)	勝田 達也 (奄美瀬戸内RC)	板垣 衛 (高鍋RC)
南 秀樹 (志布志みなどRC)	藤井 幸治 (かのや東RC)	中村 好輝 (都城西RC)
馬場添隆幸 (志布志みなどRC)	佐藤 純一 (延岡東RC)	黒木 健次 (日南中央RC)
久保 龜 (鹿屋RC)	花岡 伯光 (延岡中央RC)	吉田 等 (日南中央RC)
柏木 敏郎 (鹿児島西RC)	津田 泰明 (延岡中央RC)	湯浅 吉弘 (日南中央RC)
松田 武泰 (鹿児島西RC)	山下 育 (宮崎RC)	西村 幸子 (日南中央RC)
荒武 貞夫 (鹿児島西RC)	小村賢一郎 (宮崎中央RC)	田村 京子 (日南中央RC)
	田中 正訓 (宮崎中央RC)	田村 宮子 (日南中央RC)
	志戸本和孝 (宮崎中央RC)	西村 輝男 (串間RC)

### 退会者

おつかれさまでした。

三原 浩司 (出水RC)	石井正一郎 (宮崎北RC)
兼本 和哉 (薩摩川内RC)	大峯 康誠 (宮崎北RC)
吉永 亜矢 (串木野RC)	小堀 正貴 (宮崎北RC)
山本 哲也 (鹿屋RC)	中島 淳一 (宮崎北RC)
井上 順子 (鹿屋RC)	田中 靖彦 (宮崎南RC)
宮原 聰 (鹿児島南RC)	越山 直美 (宮崎東RC)
小山田吉治 (鹿児島ガザウンドRC)	板垣 衛 (高鍋RC)
柿元 敬一 (鹿児島東南RC)	中村 好輝 (都城西RC)
岡田 明利 (延岡東RC)	黒木 健次 (日南中央RC)
松岡 哲央 (宮崎東RC)	吉田 等 (日南中央RC)
中山 拓巳 (都城RC)	湯浅 吉弘 (日南中央RC)
二見 康徳 (都城北RC)	西村 幸子 (日南中央RC)
有島 志丸 (えびのRC)	田村 京子 (日南中央RC)
渡辺 千尋 (えびのRC)	西村 輝男 (串間RC)
村田 豊年 (日南RC)	田村 宮子 (日南中央RC)

### 物故会員

謹んでご冥福をお祈りいたします。

えびのRC 第28代会長 野下 岩夫 (享年90) 平成29年7月23日ご逝去 ロータリー歴27年6ヶ月 (平成3年1月30日入会)
--



# 地区大会のご案内

RI テーマ ロータリー：変化をもたらす

地区テーマ「ロータリーを知り、理解を深めよう」

開催日

2017年

9月29日(金) 30日(土) 10月1日(日)

会場

シーガイヤコンベンションセンター



9月29日(金)

記念ゴルフ大会

(フェニックスカントリークラブ)

地区財務・各種委員会

RI会長代理

御夫妻歓迎晩餐会



9月30日(土)

第1本会議

基調講演



貴乃花部屋  
女 将  
花田 景子氏

パストガバナー諮問委員会  
ガバナー補佐・部門長・会長・  
幹事合同協議会  
会員交流大懇親パーティー

10月1日(日)

第2本会議  
フェアウェルパーティー

## 整骨院（接骨院）をご利用されていますか？

皆様お住いの町内には、いくつかの整骨院（接骨院）が、探せると思います。整骨院は、平安時代からの伝統医術を伝承し、江戸初期、中国からの亡命者によって日本の柔術僧に中国整骨術が伝授されて世に広まり、市井の人の治療に役立つようになりました。江戸末期には西洋医学・解剖学の広がりで、整骨術は著しく発展して今日に至っています。整骨術の後療法には、その整骨院独自の技法を用いますので、自分に適した院を探されて痛みや苦痛の無い快適な日々を過ごせることにお役立て下さい。

## 整骨院での柔道整復術とは？

- 1) スポーツや日常生活の中で生じた、挫傷（肉離れ、すじ違い）、打撲（打ち身）、捻挫、脱臼および骨折などの各種損傷に対して、その回復を図ることを目的に施術を行います。  
骨折、脱臼の後療は、医師の同意を要します。
- 2) 治療は、各種損傷に対して、評価、整復、固定、後療法、指導管理などを行います。
  - ①評価……負傷者の症状を聞く問診、患部を観察する視診、患部に触れて診断する触診を行い負傷者の状態を把握し、損傷の程度や負傷者の自然治癒力に合わせて治療方針を決定します。
  - ②整復……骨折の際の骨の損傷や、脱臼・捻挫の際の関節部分のずれなどを、手技により正常な状態に戻します。
  - ③固定……患部の治癒の促進、再転移などの防止、痛みの軽減のために、ギプスなどの固定材やテーピングなどで患部を固定します。
  - ④後療法……処置後の治癒を促進したり、早期に正常な運動機能を取り戻すことができるようを行うもので、柔整マッサージなどの手技療法、運動療法、温熱などによる物理療法を実施します。
  - ⑤負傷者の日常生活について適切な指導管理を行い、患部に悪影響が生じないように指導します。



最高の笑顔でお待ちしております。



有限会社 河野俊郎酒店

宮崎市清武町加納甲 2677-1  
Tel 0985-0021 Fax 0985-84-0058